

- 凡例**
- 災害時避難場所
 - 警察機関
 - 消防機関
 - 水位観測所
 - 行政機関
 - ポンプ場
 - 境界
 - 国道
 - 主要地方道一般県道
 - 鉄道
 - 公共下水道事業計画区域

中津市内水ハザードマップ

(時間100mmの大雨による浸水図)

公共下水道事業計画区域全体版



浸水した場合に想定される水深

1. 内水ハザードマップには、大雨が降った時に予想される水深を色別であらわしています。水深の目安はおおよそ次のとおりです。

水深	水深の目安
1m-2m以下	1階の下までひたひた
45cm-1m以下	1階物でびたひたの腰までひたひた
20cm-45cm以下	たかひたまでひたひた
5cm-20cm以下	履も歩道が見えなくなる程度
0cm-5cm以下	履も歩道が見えなくなる程度

2. 水深が45cmを超えると歩道の避難が困難になります。また、少しでも浸水していると、用水路、側溝、ふたの開いたマンホールと道路との境が見えなくなってしまう。落ち込んだり流されたりしてしまい大変危険です。そこで、危険を感じた場合は、早めに自主的な避難を開始してください。

避難所一覧

校区	施設名	所在地	避難可能面積 (m ²)	収容人数 (人)	標高 (m)	連絡先
南部	南部公民館	中津市1468番地(京町)	180	90	3.8	25-0822
	城北中学校	中津市小丸525番地11	1,124	562	2.8	22-0780
	南部小学校	中津市1309番地(三ノ丁)	832	416	3.6	22-0301
	南部幼稚園	中津市1282番地1(三ノ丁)	322	161	3.6	22-2534
	小幡記念図書館	中津市1366番地1(片岡町)	335	168	3.7	22-0679
北部	中津城公園	中津市1278番地1(二ノ丁)	12,762	6,381	4.6	
	北部公民館	中津市大字角494番地1	238	119	3.0	24-6904
	北部小学校	中津市666番地(山ノ下)	1,057	529	2.3	22-0302
	北部幼稚園	中津市大字大塚23番地1	274	137	2.8	22-1718
	中津交番	中津市大字大塚1番地	5,500	2,750	2.5	22-0550
豊田	米山老人憩の家	中津市大字大塚1321番地6	184	92	1.3	24-0827
	新大塚老人憩の家	中津市大字大塚1717番地	133	67	2.0	24-1195
	米山公園	中津市大字大塚1331番地13	64,000	32,000	1.4	
	豊田公民館	中津市大字上宮594番地1	263	132	7.8	24-6916
	豊田小学校	中津市大字上宮594番地1	1,521	761	5.8	22-0445
沖代	豊田幼稚園	中津市大字上宮594番地1	271	136	4.4	22-1973
	中津文化センター	中津市豊田14番地38	1,122	561	5.3	25-1858
	中津文化会館	中津市豊田14番地38	484	242	5.3	24-1155
	東九州龍谷高等学校	中津市大字中野52番地	6,000	3,000	2.8	22-0416
	中津南高等学校	中津市大字高野209番地	11,000	5,500	5.7	22-0224
大津	第二保育所	中津市大字上宮355番地	248	124	10.9	23-1210
	中央公園	中津市豊田14番地39	20,768	10,384	5.5	
	島田公園	中津市豊田5番地4	5,073	2,537	5.3	
	沖代公民館	中津市沖代1丁目6番地52	270	135	7.5	23-8202
	生涯学習センター(まなびの館)	中津市中央1丁目3番地45号	368	184	6.5	22-7637

頻発する災害に注意

内水氾濫に注意!

下水道施設や水路などの排水能力を上回る大雨による浸水や、川の水位が高くなり放流できず、マンホールや雨水ますなどから溢れおこる浸水です。

※今回、内水ハザードマップとして公表しました。

土砂災害に注意!

大雨や地震によって地盤が緩むと、土砂災害が起こる危険があります。雨が降っているときはもちろん、雨が止んでも危険な状態が続いているので注意が必要です。

土砂災害に関する情報はこちらで
◆土砂災害ハザードマップ(中津市)
主な記載内容: 土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域等
※公共下水道事業計画区域外

津波に注意!

強い地震(震度4程度以上)を感じたとき、または弱い地震であっても長い時間揺れを感じたときは、直ちに海浜から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう。

津波に関する情報はこちらで
◆大分県津波浸水想定 市町村別 中津市(大分県)(H26.3)

大雨時の気象情報

雨が強くなると... **注意報** → 大雨が降り続けると... **警報** → さらに激しい大雨が続くと... **特別警報**

大雨・洪水注意報
災害が起こるおそれがある場合に、その旨を注意して行う予報。

大雨・洪水警報
重大な災害が起こるおそれがある場合、その旨を警告して行う予報。

大雨特別警報
重大な災害が起こるおそれが著しく大きい場合、その旨を警告して行う予報。

さらに激しい大雨が続くと... **特別警報** **命を守る行動をとる**

記録的短時間大雨情報 110mm/1時間

大雨・洪水警報発表中、災害の発生につながるような雨量であることをお知らせするために発表されます。

記録的短時間大雨情報とは
基準は、1時間雨量歴代1位または2位の記録を参考に、概ね県予報区ごとに決めています。この情報は、大雨警報発表時に、現在の降雨がその地域にとって災害の発生につながるような、確信が観測されない雨量であることをお知らせするために発表されるもので、大雨を観測した観測点や市町村等を明記しています。

避難行動の種類

避難行動には、「立ち退き避難(水平避難)」と「屋内安全確保(垂直避難)」があります。

立ち退き避難
自宅等から避難所や安全な場所へ移動する避難行動。

屋内安全確保
自宅等建物の上層階に留まり、安全を確保する避難行動。

避難情報の種類と取るべき行動

災害が発生・切迫し、警戒レベル4の発令により求められている指定緊急避難場所等への立ち退き避難を安全にできない可能性があると考えられる場合に発令されます。

警戒レベル5 緊急安全確保
命の危険が迫っています。直ちに安全確保してください。
●少しでも浸水しない高い場所や、安全でも土砂災害の危険が少ない場所へ移動し、命を守ってください。

警戒レベル4 避難指示
災害発生のおそれが高まったときに発令されます。
●指定緊急避難場所や近隣のより安全な建物・建物等への「立ち退き避難」を基本とする避難行動をとります。
●立ち退き避難はかえって命の危険を及ぼしかねない自ら判断する場合には、少しでも命が助かる可能性が高い避難行動として「屋内安全確保」を行います。

警戒レベル3 高齢者等避難
危険な場所から高齢者等は避難
●高齢者や子ども、体の不自由な人等、避難行動に時間を要する方やその支援者の方は避難行動を始めましょう。
●それ以外の方も必要に応じて、危険を感じたら自主的に避難行動を始めましょう。

※災害の発生状況が把握できていない場合などは、警戒レベル5が発令されない可能性があります。

災害用伝言ダイヤルを活用する

NTT西日本災害用伝言ダイヤルの利用方法の例

「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って、伝言の録音・再生を行ってください。

地震や洪水などの大災害発生時は、電話利用が爆発的に増加し、電話につながりにくい状況が1日～数日間続くことがあります。このような場合は、「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内やその他の地域のみなさんと伝言の録音・再生をすることができます。

※災害時、公衆電話は優先的に通話できます。

援助が必要な人がいたら...

僕たちがお手伝いします。一緒にあげましょう。身体の不自由な方には、それぞれの人に合った誘導方法を確認し、恐怖感を与えないように配慮しましょう。

僕も手伝おうよ。役職がありますよ。

目の不自由な方には、まず声を掛けましょう。誘導するときは、杖を持った方の手には触れず、肘のあたりを軽く持つてもらい、半歩前をゆっくり歩きましょう。

耳の不自由な方には、近くまでよって相手にまっすぐ顔を向け、口を大きくはつきり動かし、紙とペンで筆談しましょう。

浸水被害から家屋を守ろう!

土のう
出入口に土のうを使用し、浸水を防ぎます。

止水板
出入口口に1cmの板を使用し、浸水を防ぎます。

風呂水のう(家庭用ごみ袋を利用)
※あくまで小規模な水害で、水深の浅い初期段階で行うものです。

●家庭用ごみ袋などを二重にし、半分くらいまで水を入れて固く口を縛ります。水は、風呂の残り湯などでも良く、バケツなどに袋を広げて水を入れて簡単に詰めます。重たいため、運搬に注意してください。

●段ボール箱に入れて敷き詰めると、強度が増し安くなります。積み重ねた水につからぬ部分が多くなると流れにくくなります。

※思わぬ場所からの浸水に注意!

住宅の周辺が浸水すると、下水が逆流して、トイレ、風呂場や洗濯機の排水口などから水が噴き出ることがあります。ビニール袋に水を入れた水のうを置くこと、逆流を抑える効果があります。

床下が浸水すると、床下収納のふたが開いて、水が入ることがあります。重しを置いて、水の浸入を防ぎましょう。

洪水の中を歩くときの注意事項

水深がひびまで来て歩きにくくなってきて... すごい浸水 歩けないね。ここなら大丈夫。救助待ちましょう。歩ける水の深さはひびの高さまでです。流れが速いと20センチの深さでも危険です。無理をせず建物などの高所で救助を待つのが安全です。

長靴は禁物! 運動靴を! 裸足・長靴は禁物です。ひもでもしめられる運動靴が動きやすいです。

探る・長靴は禁物です。ひもでもしめられる運動靴が動きやすいです。

水面上では、側溝や水路・道路の段差やマンホールなど危険が潜んでいます。長い棒を杖代わりにして安全を確認しながら歩きましょう。